

「第2次宇都宮市歯科口腔保健基本計画」（素案）に対するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 平成30年1月4日（木）～1月31日（水）

(2) 意見の応募者数・件数 4名（6件）

(3) 提出方法の内訳

| | 郵送 | ファクシミリ | Eメール | 持参 | 電話 | 計 |
|----|----|--------|------|----|----|---|
| 人数 | | 1 | 3 | | | 4 |

2 意見の処理状況

| 区分 | 処理区分 | 件数 |
|----|---------------------------|----|
| A | 意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの | 2 |
| B | 意見の趣旨等は、計画素案に盛り込み済みと考えるもの | |
| C | 計画の参考とするもの | |
| D | 計画に盛り込まないもの | |
| E | その他、要望・意見等 | 4 |
| | 計 | 6 |

3 意見の概要と市の考え方

| No. | 区分 | 意見の概要 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|----|--|--|
| 1 | A | 成人期の「地域や学校・事業所・行政等の取組」の中で、地域・職域連携推進協議会という組織の記載があるが、注釈などを用いて説明を記載すれば市民に分かりやすいと思う。 | 市民の皆様に分かりやすくなるよう、御意見を踏まえ、「第5章 基本方向ごとの取組」の「3 成人期」における「地域や学校・事業所・行政等の取組」に地域・職域連携推進協議会の説明を追加いたしました。 |

| No. | 区分 | 意見の概要 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|----|--|---|
| 2 | A | <p>高齢期の「実践目標」の「個人や家庭等の取組」の重点項目について、歯が抜けてしまったら入れ歯を入れることも、口から美味しく食べられるようにすることで全身の健康づくりにつながる重要なことだと考えるが、「歯が抜けてしまったら、自分にあった入れ歯を作り噛めるようにします。」も重点項目に位置付けることはできないか。</p> | <p>よく噛むことは、全身を活性化させるのに重要な働きをしており、よく噛んで食べられるようにするための取組を重点項目に位置付けることは重要であると考えております。</p> <p>歯を喪失してしまった場合、よく噛んで食べるために義歯を作るなどの適切な対応を行うことが大切ですが、その対応につながる前提として、定期的に歯科健診を受診することが重要であると考えられますことから、「第5章 基本方向ごとの取組」の「4 高齢期」における「実践目標」の「個人や家庭等の取組」の重点項目に、「よく噛むことができるよう、定期的に歯科健診を受けます。」を追加いたしました。</p> |
| 3 | E | <p>重度の糖尿病を患っている家族が合併症を発症し、歯が抜けてしまったことから、全身の健康と歯の健康が関連していることを実感している。計画書に全身の健康と歯の健康の関連について記載があったが、このことについて、積極的に市民に広めてもらいたい。</p> | <p>「基本方向1 生涯にわたる歯科疾患の予防及び口腔機能の維持・向上」において、全身の健康維持のためにも、歯科疾患の予防対策の強化を図る必要があることについて盛り込んだところであります。市民の皆様に御理解を深めていただき、積極的に歯と口腔の健康づくりに取り組んでいただけるよう、計画を推進するに当たり、十分に周知啓発を行ってまいります。</p> |
| 4 | E | <p>咀嚼の状況について、「あまり噛んでいない人の割合」が60%を超えているが、よく噛んで食べる事の効用の更なる周知をしてはどうか。また、食育を通して、家族や友人たちと食事をする事の楽しさを周知してはどうか。</p> | <p>「基本方向1 生涯にわたる歯科疾患の予防及び口腔機能の維持・向上」において、「噛む」といった口腔機能は、生活の質の向上のほか、生活習慣病の予防や介護予防に大きく関係することから、生涯にわたり、健全な口腔機能の維持・向上を図るとしたところがあります。歯科口腔保健は食育とも関連することから、食育と連携を図りながら、よく噛んで食べる事の効用について、更に周知してまいります。</p> |

| No. | 区分 | 意見の概要 | 意見に対する市の考え方 |
|-----|----|---|---|
| 5 | E | 「歯周病と言われたが、治療や取組をしていない成人の割合」が高くなっているが、各種健診で歯周病と全身疾患の関係についてもっと周知してはどうか。また、企業のようにペナルティやポイントなどの何か付加的なものを考えてはどうか。 | 「基本方向1 生涯にわたる歯科疾患の予防及び口腔機能の維持・向上」において、全身の健康維持のためにも、歯科疾患の予防対策の強化を図る必要があることについて盛り込んだところであります。各種健診等を通して、歯科疾患の予防が全身の健康維持のために必要なことについて、計画を推進するに当たり、十分に周知啓発を行ってまいります。また、ペナルティやポイントなどの付加的なものにつきましては、今後の参考とさせていただきます。 |
| 6 | E | 半年に1回、歯医者に通って、むし歯の確認やフッ化物塗布をしてもらっている。今のところ、私はむし歯ができたことはないが、友だちにはむし歯ができてしまった人がたくさんいる。むし歯がたくさんできてしまうことがきっかけで、おじいさん、おばあさんになった頃には、自分の歯でご飯が食べられなくなる可能性があることが分かったので、私たちのような小学生にも口の中の健康が大切なことをこれからも伝えてもらいたい。 | 「基本方向1 生涯にわたる歯科疾患の予防及び口腔機能の維持・向上」において、ライフステージごとに取組を推進することとしており、小学生に対しましても、歯の健康教室等の事業を通して、歯と口腔の健康を保つことの重要性について、計画を推進するに当たり、十分に周知啓発を行ってまいります。 |